

001
321330

芳賀町祖母井1020番地

芳賀町企画課情報広報係

「あなたの声を聞かせてね」コーナー

行先



(山折り)

(山折り)

※町への要望などで回答を求める場合は、住所・氏名などの連絡先をご記入ください。広報紙面への氏名掲載を望まない場合は、ペンネーム欄にご記入ください。

氏名		年齢	
住所	〒		
電話番号	()		
ペンネーム	※こちらにご記入の場合、掲載はペンネームを使用させていただきます		

(表)

(裏)

(中)

はがまる探検隊

第4話

町内に残る中世の城跡

今回は、町内に残る1200年から1500年代に築城された城跡についてです。

町内には祖母井城、稲毛田城、高橋城、舟戸城、水沼城、平石館の6つの城があったとされています。その資料は芳賀町史にまとめられていますが、残っている資料が多い祖母井城、舟戸城、高橋城について紹介します。

祖母井城は、1550年頃、代々宇都宮家の家臣で祖母井信濃守吉胤が築いたとされています。城の内公園周辺にあった祖母井城は、東西約160メートル、南北約330メートルの城域があったようです。しかし現在は大部分が住宅地となり、当時をしのぶものは城の南東部と思われる一角にわずかに土塁が残っているに過ぎません。吉胤の死後、豊臣氏の怒りに触れた主家の宇都宮氏が取りつぶしになり、祖母井氏も没落したとされています。1597年のことです。

舟戸城は、1400年頃当時の領主であった水沼主水勝侶によって築城されたとする説と、1530年頃に宇都宮氏の家臣であった水沼五郎によるものとの説がありますが、定かではありません。水沼の天満宮の南にあった舟戸城は、東西60メートル、南北150メートルの広さで、緩やかな台地であったため、侵

入を防ぐための堀が掘られていたと思われます。

高橋城は、宇都宮氏の家臣である高橋義通が1350年頃築城したとされています。東高橋の北部にあり、現在は水田となつてしまいましたが、第12代城主の高橋小太郎の墓と言われている五輪塔がひっそりとたたずんでいます。

大河ドラマ「八重の桜」では、城を死守する会津藩と維新軍との攻防は激しいものでした。全国各地の有名な城に残る数々のエピソードのように、町内にあったとされる城にも、さまざまなドラマがあったのではないのでしょうか。



▲舟戸城跡入口



▲現在の祖母井城跡



▲現在の高橋城跡

新着資料

- 一般書
 - ◎共震 相場 英雄
 - ◎祭りの日 北原 亜以子
 - ◎ニッチを探して 鳥田 雅彦
 - ◎爪と目 藤野 可織
 - ◎千両かんばん 山本 一力
- 児童書
 - ◎きょうのシロクマ あべ 弘士
 - ◎最初の質問 長田 弘
 - ◎おまつりのねがいごと つんつくむらのおはなし たしろ ちさと
 - ◎お月見テンテン 9月のおはなし 蜂飼 耳
 - ◎ネコの目からのぞいたら シルヴァーナ・ガンドルフィ

TRC週刊全点案内より転載
その他多数入荷していますので、ぜひご利用ください。

9月の休館日
2・9・17・24・27・30日
図書館蔵書点検のため休館します
10月2日(水)～4日(金)
ご理解・ご協力をお願いします。
総合情報館 ☎028(677)2525

芳賀町総合情報館
知恵の環館だより
今月の1冊



著・伊坂 幸太郎

7日の間、対象の人間を観察し、「可」か「見送り」かどうかを判定。「可」の場合8日目はその人間の死を見届ける存在の死神である千葉は、娘を殺した犯人を追う夫婦の敵討ちに参加するが…。



著・ジャック・デュケノワ

おぼけのゆかいなあなた (ほるぶ出版) 訳・おおさわ あきら
なかよしおぼけが夢の国の「あこがれ島」まで、豪華客船の船旅に出发。でもこの船、船長さんも船員さんもないけど本当に大丈夫？

※TRC週刊全点案内より転載

図書館内に
健康情報コーナー
ができました

「芳賀町健康づくり推進計画」に基づき、町の健康課題に関わる本を集めたコーナーを新設しました。町が発信する情報もあわせて提供し、町民の皆さんに、主体的に健康づくりを進めてもらうためのコーナーを指します。ぜひご利用ください。

